

天使

Tenshi College

vol.14 MARCH 2008

特集 アッセンブリー・アワー

2007年度から「アッセンブリー・アワー」が開始されました

天使大学では、2007年度から新しく、毎週木曜日の第3講時に「アッセンブリー・アワー」という時間を設けました。今回はその「アッセンブリー・アワー」の理念、意義、期待する教育効果、現在までの状況についてお伝えします。

学生が「建学の精神」について考え、

ともに高めあうことを期待しています

学長・アッセンブリー委員長 近藤 潤子



私学にとって「建学の精神」は、社会における存在理由であり、教育の特色を凝縮させた言葉といえます。

こうした「建学の精神」を学

生に伝えることは私学の使命であり、その実現のためには、授業はもちろんのこと、正課外の諸活動(学校行事なども極めて重要です。天使大学では2007年4月から、アッセンブリー・アワー

(「集会の時間」の意)と称する時間を、毎週木曜日の第3講時(13時30分～14時40分)に新しく設けました。この週1回の時間が、本学の建学の精神「愛をとおして真理へ」を学生に啓発する大切な機会となることを期待しています。また、講習会や学校行事の準備など多様に活用されることで、学生の人間形成に資する貴重な経験に結びつくことを強く望んでいます。

2007年4月から開始したアッセンブリー・アワーは、5月は合唱コンクールの練習、6月は天使祭の準備を中心に活用されました。合唱コンクール、天使祭といった学校行事を、本学は理念教育の一環として非常に重要視しています。仲間と協力しあうことの大切さ、意見を交わしながら

とつものを作り上げていく喜びといった、学校行事の経験を通して培われる能力は、専門知識や技術とはまた別の「フラスコファア」として、「天使らしさ」の一端を担っています。

また、後期からは聖母マリアについての講話やマザー・テレサの映像鑑賞など、より直接的に「建学の精神」の理解を深める



天使祭の準備風景。天使祭をよりよいものにしようとみんなが協力していました。

アッセンブリー・アワーの活用例

- ①建学の精神「愛をとおして真理へ」やキリスト教精神についての講話
- ②学生同士のコミュニケーションの機会(ホームルーム等)
- ③大学行事(合唱コンクール、天使祭等)の練習・準備
- ④講演会・講習会(AED講習会、年金セミナー等)
- ⑤就職ガイダンス

ための機会が設けられました。他にもAED講習会(4ページ参照)、薬物中毒・カルトに関する講習会、年金セミナーなど、生活と密着した情報を得る時間としても活用されています。

アッセンブリー・アワーは、自由度の高い時間です。プログラムが決まっていなくても、所は各クラスで話し合い、その時間の使い方を自由に決めることができます。建学の

精神を啓発するため、あるいは学生相互がともに成長し合うための時間としてアッセンブリー・アワーは設けられました。そうした設置目的に合う時間の使い方はさまざまですので、学生同士がお互いを高め合うために何が必要かを深く考えるよい契機にもなります。そういった意味でも、アッセンブリー・アワーは多くの可能性を秘めた試みといえるでしょう。



マリア様についての講話風景。マリア様が私たちに示した愛の深さを知り、建学の精神「愛をとおして真理へ」の意味を考えました。

大学院看護栄養学研究科看護学専攻に、修士論文コース (公衆衛生看護学・精神看護学)が新設されます

大学院看護栄養学研究科 看護学専攻
教授 影山 セツ子

とにより、将来、精神看護学の発展に貢献
できる人材を育成します。

2008年度から大学院看護栄養学研究科看護学専攻
は、従来の実践型(上級実践看護師)コース「ホスピス・緩和
ケア看護学」(定員4名)に加え、修士論文コースとして「公
衆衛生看護学」(定員2名)、「精神看護学」(定員2名)が新
設されます。この度は、新設されるふたつのコースについて
紹介します。

1. 公衆衛生看護学

高度な行政能力と研究能力、豊かな
人間性をバランスよく備えた保健師
を育成

地域では住民の生活形態や社会情勢の
変化に伴い家族機能の低下が見られ、児童
虐待や引きこもり等の従来見られなかつ
た心の健康問題が社会問題化しており、こ
れらの新たな健康課題への対応が求められ
ています。一方、地方自治体においても、行
財政改革や地方分権が推進される中で、住
民のニーズに基づいた、かつ地域特性を活
かした効果的・効率的な健康政策の推進が
求められており、行政能力を備えた看護職
の人材育成が求められています。

本コースは、学士課程で習得した専門知
識・技術を基盤に公衆衛生看護における学
識を深め、科学的思考力と研究能力を養
い豊かな人間性に裏付けられた公衆衛生
分野における高度な看護専門職業人とし
ての保健師を目指しています。

特に「保健事業を企画・立案・運営・評価
する能力」「特殊な健康課題をもつ個人・家
族・集団に対する適切なヘルスクエアを提供
する能力」「根拠に基づいた施策化を提言・
推進できる能力」「公衆衛生看護活動に貢
献できる研究能力」の育成を目指します。

2. 精神看護学

広がる精神看護へのニーズに応え、高
度な研究能力と実践能力を兼ね備
えた看護師を育成

2006年4月、障害者自立支援法の施
行により、精神障害者を取り巻く保健医療
福祉の環境が大きく変わりつつあります。
そのような状況の中で、精神看護を専門と
する看護師に求められるものは、単に精神
疾患の症状や治療に伴う苦痛や障害に対
する援助にとどまらず、精神疾患の予防お
よび回復への援助、精神的健康の向上や社
会一般への教育・啓蒙と
いう分野にまで広がっ
ています。

これらの状況をふま
えて、本コースでは、精
神看護の基盤となる治
療的対人関係能力、精
神の健康生活をアセス
メントする能力、他職種
との連携や援助を求め
る人々とのかわりの中
で必要となるコンサル
テーション能力の習
得を基盤に置き、さらに
研究実践能力を培っ

◆看護学専攻 修士論文コース (公衆衛生看護学・精神看護学)カリキュラム

	講義	演習・実習
基礎科目	●看護理論特論 ●倫理学特論 ●看護研究法I 看護教育学特論I 看護管理学特論 コンサルテーション論 看護政策論	看護研究法II 看護研究法III 統計学特論 看護教育学特論II
専門基礎科目	人間関係論特論 がん・緩和疾患病態学 精神病理学特論 薬理学特論 国際保健医療福祉システム論 家族関係論特論	
専攻分野専門科目	公衆衛生 看護学コース ●特論I ●特論II ●特論III	●演習I ●演習II ●演習III
	精神 看護学コース ●特論I ●特論II	●演習I ●演習II
		●特別看護研究

●印は必修科目

《新設コースの概要》

◆公衆衛生看護学

- 定員:2名
- 出願に必要な資格:看護師・
保健師(取得見込も可)

◆精神看護学

- 定員:2名
- 出願に必要な資格:看護師
(取得見込も可)

担任の立場から見た アッセンブリー・アワー

「緩和ケア病棟」についての
映像を観て、討論しました

看護学科講師 1年B組担任
久賀 久美子

今年度から新たに設けられた毎週木
曜日のアッセンブリー・アワーは、前期
15回の時間があり、1年生は、そのうち
12回を合唱コンクールや天使祭の準備
に充てました。

予定表に示された空欄は3箇所。この
3箇所は、クラスごとに自主的にテーマ
を決めて取り組むことになっており、6
月28日が予定のない最初のアッセンブ
リー・アワーでした。学生には運営につ
いて事前に考えておくように伝えていま
したが、天使祭のことで頭がいっぱい

だったせいかテーマが決まらず、教員
から提案された「天使祭の振り返り」
について意見交換を行いました。最初
は、天使祭の運営に対する批判も多
かったのですが、徐々に自分たち一人
ひとりが天使祭を創りあげていかな
くてはならなかったことへの気づきや
来年に向けた課題について意見が出
始め、大人数の前で意見を述べるこ
とや建設的に話し合う体験ができたよ
うでした。空白だった残りの2コマの
うち1コマはアッセンブリー・アワー
をどのように運営するかを話し合
い、最後の1コマはテレビで放映され
た「緩和ケア病棟」に関する映像を視
聴し、グループに分かれて感想を話し
合いました。話し合うという体験を通
して、自分の考えや気持ちを伝えた
り、相手の考えや気持ちを尊重するこ
との大切さに気付けるようになって
ほしいと思っています。

看護師としての第一歩 ——忙しいけれど 充実した日々

1年生の
言葉

看護学科1年
石岡 ももえ

私は小さい頃から、人のために働く職
業に就きたいと考えていたので、天使大
学の入学式を迎えたとき、ようやくそ
のスタートラインに立つことができた
と実感しました。とてもうれしくて舞い
上がっていたと同時に、看護師になるに
は膨大な知識と技術を習得しなければ
ならず、授業についていけるかどうか不
安も感じていました。

大学生活が始まると、講義に演習に
課題にと、1週間がとても短く感じら
れるほど、目まぐるしい日々を送るよ
うになりました。看護師はあらゆる側
面から人と向き合わなければならない
大切な仕事なので、厳しさと忙しさ
は当たり前だと覚悟していましたが、
入学当初は(未だに)そうかも知れませ
んが、あまりの忙しさに目を回して
ひっくり返るほどでした。しかし、次第
に知らなかったことを学ぶ楽しさ、新
しい発見をしたときの新鮮な驚き、何
かを一生懸命やり遂げたときの達成
感を感じるようになり、忙しなだけ
れど充実した日々を送っています。ま
だ当分は小さな卵の私ですが、自分
が選んだ目標を達成して輝化できる
ように、これからも心身ともにこの天
使大学で鍛えていきたいです。

大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻に博士後期課程が新設されます

大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻

専攻主任・教授 荒川 義人

天使大学大学院看護栄養学研究科栄養管理学専攻では、2008年度から新しく博士後期課程を設置します(定員2名、修業年限3年)。この博士後期課程では、博士前期課程等で習得した知識と技術に立脚し、人間栄養学の特定の課題について、自立して研究する能力を持ち、リーダーとして社会に貢献できる教育・研究者を養成します。

栄養の基礎領域と実践領域が融合した教育・研究体制が特徴

医療の分野や地域社会でシステマティックな栄養管理を実践できる、高度な専門性を有する管理栄養士の養成を目指して修士課程栄養管理学専攻が開設されて2年が経過しました。その間にも、生活習慣病は増加を続け、メタボリックシンドロームの予防・治療が盛んに提唱されています。また、「食」の機能性への期待が膨らむ一方でグローバル化に伴うリスクが拡大し、安全かつ満足できる「食」が強く求められています。このような社会のニーズに応える有為な人材、すなわち、栄養にかかわる高度な研究能力と研究成果を医療の現場や地域などに還元できる実践能力を備えたリーダー的人材を養成するために、博士前期課程の目的を尊重しつつ博士後期課程の設置準備に入りました。

開設予定の博士後期課程の教育課程では、基礎系と実践系に体系化した「特別研究」を中心に、各系共通の必修科目「研究方

法特論」、さらに「特別研究」を専門的かつ高度なものにするため、各系に「基礎系栄養管理学特論」と「実践系栄養管理学特論」を選択必修で配置しています。また、大学院担当教員が中心となり実施されている札幌市民を対象とした「健康栄養クリニック」を実践教育の場として、肥満・メタボリックシンドロームの予防と治療に関する臨床研究と、人の健康維持と破綻に起因する疾病に関する新しい知識を養い、諸問題を科学的・具体的に追求し、課題解決に対応できるレベルに到達することと寄与しています。栄養に関わる基礎領域の教育・研究と、既存の博士課程では数少ない実践栄養学領域での教育・研究が融合した体制で展開できる大学院として、新たな一歩を踏み出そうとしています。



高度な研究能力と研究成果を現場に還元できる実践能力を備えたリーダー的人材を養成します。(写真はイメージ写真)

担任の立場から見た
アッセンブリー・アワー

合唱コンクールや天使祭の
準備の時間が増えました

栄養学科講師 1年A組担任
金澤 康子

今年度の新しい取り組みとして、毎週木曜日の午後、理念教育やクラスの活動の時間として、全学一斉にアッセンブリー・アワーが設けられました。

栄養学科では4月、この時間を利用して1年生に対して上級生が学生生活の紹介を行いました。これは2、4年生有志が中心となり、スライドを使って授業や実験・実習、行事、クラブ活動など1年間の学生生活の流れを紹介するものです。1年生にとっては入学時の緊張が続

く時期でしたが、上級生たちの和気あいあいとした様子や「本音」に触れることで安心し、天使大学での学生生活に期待が高まったようでした。

5月から6月にかけては合唱コンクールや天使祭などクラス単位で活動する行事が続きました。昨年度までは行事に向けたクラス活動の時間確保に苦慮しましたが、今年はこの時間を使って練習や準備をすることができました。

前期はどちらかといえば学級活動のような内容が主でしたが、9月にはケン・スレイマン先生による講義があり、1年生たちは知っているようで知らないことが多かった聖母マリア様について学ぶことができました。担任としてアッセンブリー・アワーに関わる中でまた手探りの部分もありますが、この時間が天使大学ならではの学びの場のひとつになることを願っています。

「自分だけの大学生活」を
築いていきたいです

栄養学科1年
土居 愛美

1年生の
言葉

はじめは授業をこなすだけで精一杯でしたが、入学から1年がたち、大学生活にも慣れてきました。いま、大学生活で感じることは、「毎日が充実している」ということです。

高校時代も楽しく過ごしたと言えるのですが、それはただ時間が過ぎていったという感じがありました。その時に比べると、今は勉強、サークル活動、アルバ

イトを両立させなければならず、自分の自由な時間が減りました。講義終了後にアルバイトをし、その後にサークル活動をして、帰宅時間が夜遅くなってしまう日も少なくありません。しかし、それをつらいとはあまり感じません。むしろ、その忙しい毎日が私に、高校生活にはなかった刺激を与えてくれ、新鮮な充実感へとつながっています。心の底から、大学生活が楽しいと感じています。あと3年間、自分に与えられた時間を有意義に使い、将来の糧となるような「自分だけの大学生活」を築いていきたいです。

AEDの設置

天使大学構内に

AED(自動体外式除細動器)が

設置されました

2005年度から要望のあったAEDが、2007年6月より「体育館入り口」に設置されました。

設置に伴い、学生および教職員が「必要な時にすぐ使えるようになるための講習会」を、アッセンブリー・アワーの時間を利用して7月に開催しました。講師を東消防署職員の方々にお願いし、人体模型を使い救命処置とAEDの正しい使い方を学習しました。栄養・看護両学科の学年ごとに3回実施し(栄養学科4年は10月に実施)、教職員の方にも呼びかけて数名が参加しました。

意識のない人は、救急車が到着するまでの6分間が生死を分けると言われてい

あわてず、迅速に、適切な対処ができるようにいざという時に役立つAED講習会を次年度も引き続き実施していく予定です。

学生だけでなく教職員の方々の参加も積極的に呼びかけ、一人でも多くの方がAEDの使用方法を理解し、緊急時に対応できるようになることを期待しています。(保健相談室 坂本 泰子)



学生は「アッセンブリー・アワー」の時間を使ってAEDの操作方法を学びました。



AEDに関する

Q & A

Q1 AEDとは?

AED(Automated External Defibrillator、自動体外式除細動器)とは、心臓が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる「心室細動」等の致死性の不整脈の状態を、電気ショックを与えることによって、正常な状態に戻すための医療機器です。

Q2 なぜ学内にAEDを設置する必要があるのですか?

心臓がけいれん(心室細動)を起こしたら、一刻も早く除細動を行うことが重要です。1分遅れることに、約10%ずつ社会復帰率が低下するというデータもあります。このため、救急車が到着するより前に除細動を行うことが理想です(救急車到着までの平均所要時間は6分強)。

AEDはもともと「医師」にしか使用が認められていませんでしたが、操作を自動化して医学的判断ができない人でも使えるように改良され、2004年4月から「一般市民」の使用も認められました。そうした流れから、多くの人が集まる「学校」「駅」等で、AEDの設置が強く求められています。(参考:「失いたくない命のために」フクダ電子株式会社発行)



天使祭では世界各国の禁煙に関するポスターを展示しました。



敷地内全面禁煙がスタートしました



タバコ枠組み条約の批准や健康増進法を鑑み、また、学生アンケートにも敷地内禁煙への要望が少なくなかったことから、学生委員会として積極的にタバコ問題に取り組むことにしました。禁煙支援を実施することが、学生生活支援の課題の一つであると考え、敷地内禁煙の提案を、そして2007年4月実施へと至りました。

保健医療職を育成している大学としては、遅ればせながらの開始とはなりましたが、今年度は、タバコ問題や禁煙への啓発活動として、新入生・在学生へ敷地内禁煙とタバコ問題のオリエンテーション、合唱コンクールでの審査待ち時間のタバコの害に関するDVD視聴、天使祭では世界の禁煙ポ

スター展などの活動を展開しました。また、個別禁煙支援活動には、全学の教職員への参加も呼びかけ、禁煙サポーター活動を展開中です。現在16名の教職員が「禁煙サポーター」として名乗りを上げています。12月13日(木)には、保健師の富永典子氏をお招きし、「禁煙は愛です。」うれし たのし禁煙支援」と題した禁煙教育講演会を本学学生を対象に行いました。今後も、天使大学喫煙者ゼロを目指し、さまざまな活動を展開していく予定です。

(学生委員会 基津 智子)

学生の今後の日程

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 4/ 1(火) | 入学式 |
| 4/ 2(水) | 新入生オリエンテーション |
| 4/ 3(木)・4(金) | 出会いと親睦ゼミ(1年生・看護編入3年生) |
| 4/ 3(木) | 前期授業開始 |
| 4/17(木) | イースターの集い・学生総会 |
| 5/20(火) | 合唱コンクール |
| 6/20(金)・21(土) | 天使祭 |
| 8/ 4(月) | 夏期休暇(~9/5) |
| 9/ 8(月) | 後期授業開始 |

助産分野
教育の新設

臨床経験5年以上の助産師の方のために
「助産師教育分野」を開設します

天使大学大学院助産研究科では、助産師養成のための「助産基礎分野」に加え、2008年度より新たに助産師を対象とした「助産教育分野」も設置します。助産師として5年以上の実務経験を持つ方を対象に、助産の卓越した知識・技術の修得とともに、教育機関・臨床の場で助産師を目指す方を教育・指導する能力を養成するためのコースです。

経験を積んだ助産師に、「助産師の後継者」を育成していただきたい

学長・大学院助産研究科長 近藤 潤子

2004年4月に開設した日本初の専門職大学院助産研究科も5年目に入ろうとしています。

2年制の助産師教育課程は本邦初ですが、妊娠・出産・産褥期の女性や新生児・乳児のケアを自律した実践行動を目指して学習し、さらに思春期から中高年期女性や家族のケアなど拡大する助産師役割、子育て支援、国際助産など盛りだくさんの内容に取り組んできました。少子化問題、助産師や産科医不足が深刻になっている今日、助産師教育の質を高め、助産師の増加を図り、社会のニーズに対応する助となってきました。

さらに2008年度から助産専攻を2分野に分け、既存の分野を助産基礎分野とした上で、新たに「助産教育分野」を開設す

ることにしました。

助産師は高度専門職として認められましたが、学習者がそのための知識・理論と技術を実践行動に統合する「助産師の育成」には優れた助産師教育者が必要です。助産師が持つべき基本的能力を効率よく計画し指導する人材を育成することは、わが国の母子ケアのために喫緊の課題となっています。臨床経験5年以上の助産師の方のために、もう一度助産学を深め、さらに職業教育に必要なカリキュラムの原理、学習の理論、教育評価・教育管理などの理論、授業や臨床指導の実習、教育課題研究を学習する3学期（1年半）の分野を開設します。助産学と助産師後継者の育成に関心をお持ちの方、ぜひ本学の門を叩いてください。

助産教育分野の概要

■定員：10名(女)

出願資格と受験方法

■修業年限：1年6ヶ月

■学位：助産修士(専門職)

受験までのルート

助産師免許取得

助産師としての
実務経験5年以上

助産教育分野
入学試験

助産教育分野 年次教育計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次		講義 認定試験	演習 マタニティサイクル助産ケア 実践チェック (9週間)		講義 認定試験	夏休み		講義		冬休み	マタニティサイクル 独立助産実習 (6週間)	講義 認定試験
2年次		講義 助産教育実習(1週間) 助産教育課題研究	臨床助産教育実習 (1週間)			夏休み	修了					

助産
研究科
公開講座

助産研究科公開講座
「更年期を元気に過ごすための
エトセトラ」を開催しました

大学院助産研究科教授 石塚 百合子

「更年期を元気に過ごすためのエトセトラ」と題して、菅沼ひろ子先生(宮崎県立看護大学)と竹原久美子先生(朋佑会札幌産科婦人科)をお迎えして、2007年9月1日(土)天使大学7405講義室において13時から2時間30分、実施されました。参加者は61名(一般53名、学部生1名、臨床施設の方2名、院生5名)、平均年齢34.8歳でした。

他に準備に協力した院生と教員も含めて約80名が講演を伺うことができました。アンケート(回収率68.5%)の結果では、テーマ、講演者、内容、開催日時、場所などの項目で、90%以上が「よい」「大変よい」と評価していただきました。

自由記載の項では、「助産師がこの分野も仕事の範囲としていることを今回初めて知りました」、「今後もどんどんこのような企画を開催していただきたい」、「具体的な説明があり、更年期を前向きに迎えたい、いつでもどうぞという気持ちに少しなりました」など、貴重な意見が多く、今後のテーマにつなげていきたいと考えています。



第2回

つれづれ考

本学教職員によるリレーコラム

ハイハイのススメ

看護学科講師 堀井 さやか

一日2回、私はムスメと並んであるいは列になって家の中をハイハイする。カノジョがハイハイすると、その目の高さは28センチ。だから私も四つんばいになりさらに腰をかかめ、28センチの世界に入る。

カノジョは特に光る物、音が出る物、ひも状の物や動く物への関心が高い。見つけた時には高速のハイハイで歓声をあげながら、あるいは息をのんで接近し、座りこみ、見て、触れて、口にいれて(それが虫だった時も……)観察する。また運動能力の向上にも余念がない。ハイハイで段差を昇る、降りる、つかまり立ちや伝え歩くことにも果敢に挑戦する。

こうした活動の初めと終わりにカノジョは必ず私をじっと見る。私も手をとめカノジョを見る。このアイコンタクト、一瞬のことなのだがカノジョの安心した気持ちが私にとつと押し寄せてくる。そして私もほっとする。

ハイハイは最初から一緒にしていたわけではない。でも一緒に始めたら、カノジョの小さなチャレンジと喜びを共有できるようになった。初めての子育てでは戸惑いも多いが、このような「見守る」ことが楽しく、うれしい。高さ28センチの世界は体の硬い私には正直辛い。けれど歩けば一足の距離も、ハイハイだから気がつくものがある。さあ、今日もハイハイの時間がきた。

◆追記 2007年4月12日まで育児休暇をいたいた。子育ては、時間との追いつけつ、休暇という名前だが「育児時間の保証」という意味で、職場からの最大の「育児支援」と受けとめている。この場を借りて心からお礼を申しあげたい。厚生労働省は「地域で支える子育て支援を進めている。育児休暇のおかげで私たち親子はこの「地域の子育て支援」を当たり前に利用し、支えられている。地域とのつながりを持てたことは、復帰後の子育てへの安心も大きくしている。

2006年度決算概要 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

天使大学ホームページでも決算概要を公開しています

天使学園・比較資金収支計算書

(単位:円)

支出科目	2006年度	2005年度	対前年度増減	収入科目	2006年度	2005年度	対前年度増減
人件費支出	922,009,730	842,978,505	79,031,225	学生生徒等納付金収入	1,168,887,667	1,182,803,000	△13,915,333
教育研究経費支出	265,677,038	248,923,434	16,753,604	手数料収入	29,285,215	27,139,480	2,145,735
管理経費支出	50,871,376	56,623,065	△5,751,689	寄付金収入	12,463,046	12,651,640	△188,594
施設関係支出	13,202,827	5,090,700	8,112,127	補助金収入	235,225,550	239,093,538	△3,867,988
設備関係支出	41,137,254	47,674,297	△6,537,043	資産運用収入	5,581,292	3,244,090	2,337,202
資産運用支出	45,000,000	60,000,000	△15,000,000	事業収入	3,928,933	2,952,615	976,318
その他の支出	27,066,815	37,225,407	△10,158,592	雑収入	31,965,948	14,092,224	17,873,724
資金支出調整勘定	△15,544,592	△16,629,815	1,085,223	前受金収入	618,460,000	622,760,000	△4,300,000
次年度繰越支払資金	1,495,062,631	1,368,535,821	126,526,810	その他の収入	23,254,077	15,685,374	7,568,703
				資金収入調整勘定	△653,104,470	△639,644,360	△13,460,110
				前年度繰越支払資金	1,368,535,821	1,169,643,813	198,892,008
支出の部合計	2,844,483,079	2,650,421,414	194,061,665	収入の部合計	2,844,483,079	2,650,421,414	194,061,665

資金収支計算書は、学園の1年間のお金の動きを表示したもので年度末にいつでも引き出すことができるお金をいくらあるかを計算する計算書です。資金収入には、授業料、補助金等、資金支出には、教職員給与、消耗品、水道光熱費、建物、機器備品等の購入を含め、すべてを計上します。

天使学園・比較消費収支計算書

(単位:円)

支出科目	2006年度	2005年度	対前年度増減	収入科目	2006年度	2005年度	対前年度増減
人件費	924,929,208	852,091,639	72,837,569	学生生徒等納付金	1,168,887,667	1,182,803,000	△13,915,333
(内退職給与引当金繰入額)	(27,684,658)	(14,617,864)	(13,066,794)	手数料	29,285,215	27,139,480	2,145,735
教育研究経費	359,137,165	341,070,791	18,066,374	寄付金	18,433,725	18,621,384	△187,659
(内減価償却額)	(93,460,127)	(92,147,357)	(1,312,770)	補助金	235,225,550	239,093,538	△3,867,988
管理経費	54,679,414	61,018,629	△6,339,215	資産運用収入	5,581,292	3,244,090	2,337,202
(内減価償却額)	(3,808,038)	(4,395,564)	(△587,526)	事業収入	3,928,933	2,952,615	976,318
資産処分差額	736,144	922,803	△186,659	雑収入	31,965,948	14,092,224	17,873,724
消費支出の部合計	1,339,481,931	1,255,103,862	84,378,069	帰属収入合計	1,493,308,330	1,487,946,331	5,361,999
当年度消費収入超過額	99,477,999	158,798,113	△59,320,114	基本金繰入額合計	△54,348,400	△74,044,356	19,695,956
前年度繰越消費支出超過額	28,793,405	187,591,518	△158,798,113	消費収入の部合計	1,438,959,930	1,413,901,975	25,057,955
翌年度繰越消費収入超過額	70,684,594	△28,793,405	99,477,999				

学校法人の負債とならない収入のことで、実質的な法人の収入をいいます。

消費収支計算書は、学園の1年間の諸活動から経営が健全に行われているかどうかを把握するための計算書です。消費収入と消費支出を比べて収入が上回れば「消費収入超過額」、反対に支出が上回れば「消費支出超過額」となります。学校法人が将来にわたって維持発展するためには、消費収入と消費支出の均衡する財務体質が求められます。

天使学園・比較貸借対照表(2007年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	2006年度	2005年度	対前年度増減	負債の部	2006年度	2005年度	対前年度増減
固定資産	3,120,323,032	3,110,839,581	9,483,451	固定負債	256,773,833	253,846,355	2,927,478
有形固定資産	2,497,868,632	2,535,562,181	△37,693,549	退職給与引当金	256,698,833	253,779,355	2,919,478
土地	438,082,994	438,082,994	0	その他の固定負債	75,000	67,000	8,000
建物	1,596,690,119	1,640,259,215	△43,569,096	流動負債	675,396,000	672,302,046	3,093,954
その他の有形固定資産	463,095,519	457,219,972	5,875,547	負債の部合計	932,169,833	926,148,401	6,021,432
その他の固定資産	622,454,400	575,277,400	47,177,000				
流動資産	1,533,696,581	1,383,332,201	150,364,380	基本金の部			
現金預金	1,495,062,631	1,368,535,821	126,526,810	第1号基本金	3,545,165,186	3,490,816,786	54,348,400
その他の流動資産	38,633,950	14,796,380	23,837,570	第3号基本金	20,000,000	20,000,000	0
資産の部合計	4,654,019,613	4,494,171,782	159,847,831	第4号基本金	86,000,000	86,000,000	0
				基本金の部合計	3,651,165,186	3,596,816,786	54,348,400
				消費収支差額の部			
				翌年度繰越消費収入超過額	70,684,594	△28,793,405	99,477,999
				消費収支差額の部合計	70,684,594	△28,793,405	99,477,999
				負債の部基本金の部及消費収支差額の部合計	4,654,019,613	4,494,171,782	159,847,831

基本金とは、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うために必要な資産(校地、校舎、機器備品、図書等)を継続的に保持しなければならないもので、教育研究水準の維持向上と学園の円滑な運営を図るために、常に維持しなければならないものです。

貸借対照表は、当該年度末において学園が保有する資産、負債、消費収支差額を一覧表示したものです。

天使学園・財産目録(2007年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
Ⅰ 資産の部	
1 基本財産	
(1) 土地 札幌市北13条東3丁目30番73他4筆	30,390,280㎡ 438,082,994
(2) 建物 1号館 鉄筋コンクリート造 2階建他9棟	13,896,941㎡ 1,596,690,119
(3) 構築物	20,150,592
(4) 教育研究用機器備品	1,815点 160,154,278
(5) 少額重要資産	4,908点 28,502,536
(6) その他機器備品	282点 8,817,390
(7) 図書	78,320冊 245,470,723
(8) 電話加入権	384,400
基本財産計	2,498,253,032
2 運用財産	
(1) 現金・預金	1,495,062,631
(2) 積立金	591,000,000
(3) 未収入金	30,344,470
(4) 前払金	25,200
(5) 仮払金	85,280
(6) 長期貸付金	31,070,000
(7) 短期貸付金	8,179,000
運用財産計	2,155,766,581
資産の部合計	4,654,019,613
Ⅱ 負債の部	
1 固定負債	
(1) 退職給与引当金	256,698,833
(2) 長期預り金	75,000
固定負債計	256,773,833
2 流動負債	
(1) 未払金	15,539,092
(2) 前受金	618,460,000
(3) 預り金	41,396,908
流動負債計	675,396,000
負債の部合計	932,169,833
正味財産	3,721,849,780

監査報告書

2007年5月15日

学校法人 天使学園
理事長 松宮英視 様学校法人 天使学園
監事 小片 基
監事 伊藤 好孝

私たち監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人天使学園寄附行為第34条の定めに基づいて、本法人の2006年度(2006年4月1日から2007年3月31日まで)学校法人の業務執行状況、事業の実績、及び財産の状況を監査しました。

この監査は、私たちが必要と認めた監査手続きにより実施しました。

監査の結果、本法人の2006年度の財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書は、財産及び収支の状況並びに事業の実績を適正に表示しているものと認めます。

また、本法人の業務執行の状況について指摘すべき事項はありません。

以上のとおり報告します。

以上

校舎工事・耐震増築

3・4号館を大幅に増改築しました

図書館を増築し、チャペルにステンドグラスを設置

うに決定して進めました。

1. 主な増改築工事概要

(1) 3・4号館の耐震補強工事(内部の壁など計23箇所)

(2) 図書館の増築工事(215㎡)

(3) 3号館外壁サイディング工事

(4) 1・4号館の暖房配管修繕工事

(5) 図書館・情報処理室等の冷暖房設備工事

(6) 屋外消火栓設備工事

(7) チャペルのステンドグラス設置工事



チャペル ステンドグラス



「天使告知」



「よき牧者」



図書館(増築部分)



32台増設されたスタックランナー(集密書架)

2. 資金(予算)の充当

施設設備引当特定資産(校舎建築等)のために2004年度から積み立てたもの、卒業生からの寄付金及び2007年度当初予算に計上の計約1億9千万円を充当する。

3. 工期

7月中旬から11月末の期間で実施する。

以上の決定に基づいて工事は進められましたが、何分にも大学の諸活動との並行作業のため、学生の皆さんにも教職員の皆さんにも多くの我慢を強いることになりました。しかし皆さんの積極的な協力によって、工事はほぼ予定どおりに進めることができました。

増築後の図書館は、スタックランナー(集密書架)が最終的には32台増設、約8万冊の所蔵が可能となり、飛躍的に拡大しました。

チャペルには、横3.7m・縦1.1m大のステンドグラスを2枚(天使告知と「よき牧者」)を設置し、折りの場としての雰囲気がいより高められたものと思われます。また、耐震補強工事や防火対策工事によって、校舎設備等の安全対策はすべて完了しました。

図書館や情報処理室の冷暖房設備は、暑い夏や冬の夜間の学修環境を快適なものとしてくれることを期待しているところです。

(財務課長補佐 照井 省吾)

あなたの声をお聞かせください

天使大学報「天使」では、読者のみなさまの声を生かした誌面づくりを目指しています。ご意見、ご感想、取り上げてほしい話題等ございましたら、下記あて先までお寄せください。

あて先

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1-30 天使大学広報委員会 tel 011-741-1051 fax 011-741-1077



天使大学

看護栄養学部／看護学科・栄養学科
大学院／看護栄養学研究科
助産研究科(専門職学位課程)

第14号 2008年3月30日 発行 天使大学広報委員会 年2回発行(秋、春)

<http://www.tenshi.ac.jp>